学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動 等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

三瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し、保護 者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます。

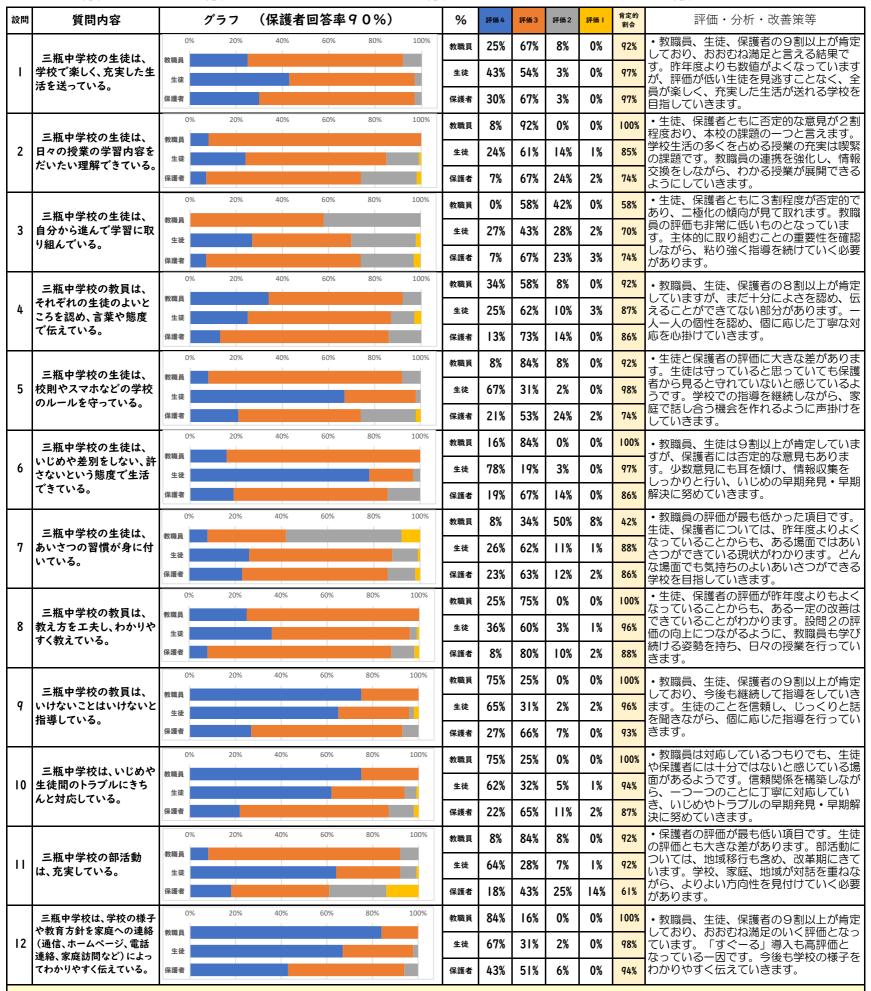
• 計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展 できる体制を整えます

保護者アンケートは7月、 12月の年2回です。

・ 保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果 たし、改善への手掛かりを得ます。

## 令和5年度1学期末学校生活に関するアンケート結果 西予市立三瓶中学校

評価4:あてはまる 評価3:どちらかといえばあてはまる 評価2:どちらかとえいばあてはまらない 評価1:あてはまらない



『心豊かで、生き生きと活動する生徒を育てる』を学校目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、様々な行事が通常の形で行われるようになりました。昨年度に引き続き、学校生活に関するアンケートをオンライン上で行うこととしました。保護者からの回答率は90%でした。御協力ありがとうございました。学校評価は、実施して終わりではなく、改善への手掛かりを今後に生かしていくことが重要です。単純に昨年度との比較はできませんが、「自ら進んで学習に取り組む態度」や「あいさつの習慣」において課題が見られました。自ら学ぶことのできる授業、わかりやすい授業を展開していくことは教員の使命です。教職員の連携を密にし、よりよい授業の在り方を追求していきたいと思います。また、あいさつについては、様々なアイデアを集めながら取り組んでいる最中です。令和6年度で三瓶分校がなくなることを踏まえ、地域の発信源となるべく三瓶中学校が、地域を盛り上げ、地域とともに歩む学校となることができるようにしていきたいと思います。